

## 「第13回 医療と教育の研究会 千葉」の開催にあたって

『医療と教育の研究会 千葉』は、平成13年に「医療的ケアが必要な子ども達の生活を教育としてどのように支援していったらよいのか」ということを柱に、情報交換や私達の学習の場として発足しました。年に1～2回のペースで開催しながら、国や県の動向を学び、各学校での実践報告・情報交換を行うことで、子ども達が健康に笑顔で学習に取り組む支援内容や方法を探ってきました。この間、国のガイドラインから県のガイドラインが整えられ、看護師の配置や県主催による医療的ケア新規担当者研修、医療的ケア連絡協議会の開催等、各分野の方々のご理解とご指導により、子ども達や保護者はもちろん、医療的ケアに関わる教員も安心して実施できる体制になりました。平成24年度は医療的ケアを実施している学校は21校になり、オブザーバー校が3校と聞いております。また少し違う形ですが、いくつかの市の小・中学校でも看護師による医療的ケアの対応がはかられてもいます。

一方介護保険法等の一部を改正する法律による社会福祉士及び介護福祉士法の一部改正に伴い、平成24年4月より一定の研修を受けた介護職員等は一定の条件の下に痰の吸引等の医療的ケアができるようになりました。これを受け、これまで実質的違法性阻却の考え方に基づいて医療的ケアを実施してきた特別支援学校の教員についても、制度上法的根拠を元に実施することが可能となりました。

この4月、学校現場の医療的ケアも担当の子ども達の顔を見る前に9時間の研修を受け基礎資格を得ることからスタートしました。そのため、現場ではクラスの子どもの顔を見て何をしたいか、どんな授業を作りたいかと考えるより先に研修を受け始めるという形になり、担当者にとまどいがあるのではないかという声が聞かれています。制度上の転換期の混乱はあると思いますが、課題を乗り越えながら、千葉県の医療的ケアの原点である、平成9年の「児童生徒の生命を支え、学習を成立させるための必須の援助行為であり、『教育上の医療的配慮を要する援助行為』として捉え」ということを忘れずに、「教育としての医療的ケア」に常にたちかえりながら進めていくことが重要なことと思います。

今回は「子ども達のよりよい生活、人生へとつなげていくためにはどうしたらよいか」という観点を基軸にし、子ども達と関わる方々と協働し、子ども達に直接関わるみなさんとともに話し合い、考え、協働していくために「第13回 医療と教育の研究会 千葉」を開催したいと思っております。

また昨年度来課題にしております震災時の情報交換もできればと考えております。たくさんの課題のある中、現場に役立つ有意義な会にしていきたいと考えております。ぜひご参加下さい。

### 構成メンバー

会長	石井 光子 (千葉県千葉リハビリテーションセンター愛育園長)
事務局代表	今井登美子 (元千葉県立桜が丘養護学校長)
事務局副代表	今別府 敏 (千葉県立袖ヶ浦特別支援学校長)
顧問	森 和夫 (独立行政法人国立病院機構下志津病院名誉院長)
	昆 俊雄 (前千葉県立袖ヶ浦特別支援学校長)
事務局	石原あゆみ (独立行政法人国立病院機構下志津病院医師)
	佐藤 洋子
	毛利 清美
	林 啓子
	木川 純子
	井上みどり
	近藤 恵子
	小波ゆき子
	高柳 ふみ

## 第13回 「医療と教育の研究会千葉」

1 日時 2012年8月25日(土) 13:30~17:00

2 場所 千葉市生涯学習センター(大研修室)

千葉市中央区弁天3-7-7

TEL 043(207)5811

### 3 内容

- |  |        |
|--|--------|
| (1) 開会   | 13:30~ |
| 医療と教育の研究会千葉開催にあたって<br>事務局代表あいさつ  |        |
| (2) 報告   | 13:35~ |
| ① 「長生特別支援学校の取り組み」(実践報告) (30分)  |        |
| ～東日本大震災を体験して～<br>千葉県立長生特別支援学校<br>教頭 南風野 久子 様<br>医療的ケアコーディネーター 田邊 康子 様<br>看護師 糸久 文子 様 |        |
| ② 「重症児者の防災ハンドブックに見る現状」 (20分)   |        |
| (福島からのレポートも含む)<br>千葉県立桜が丘特別支援学校 毛利 清美  |        |
| ③ 「訪問学級での取り組み(仮題)」(実践報告)(30分)  |        |
| 千葉県立桜が丘特別支援学校 木川 純子  |        |
| ..... 休憩 .....   |        |
| (3) シンポジウム   | 15:15~ |
| 「医療的ケアのある子の生活を支えるネットワーク(仮題)」(80分)<br>医師<br>訪問看護師<br>病院看護師<br>教諭<br>福祉関係者 (交渉中)       |        |
| (4) 質疑応答   | 16:40~ |
| (5) 閉会   | 17:00  |

4 参加費 800円(会場費、資料ほか)

### 5 その他

会場の都合で定員100名を予定しております。早めのお申し込みをお待ちしております。

締めきり：7月13日(金)

※連絡・問い合わせ・申し込み先

林 啓子(袖ヶ浦特別支援学校) TEL 043(291)6922

FAX 043(292)1706

高柳 ふみ

E-mail haa@olive.Ocn.ne.jp